八碁連だより

８月号　　第３００号

発行日　　平成28年８月１日（月）
発行所　　八王子囲碁連盟
住　所　　八王子市久保山町２－33－16
電　話　　042－691－8343
発行者　　松本　健彦
編集者　　中谷　勝信

夕やけ小やけの里に自生する「やまゆり」
（八王子市上恩方町）　７月１２日　２割位開花

http://homepage3.nifty.com/yasu1120/hatigoren.html/

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

置　　碁

恩方囲碁同好会会長　　吉澤　實

今から５０年前、西八王子の駅に降り立った。駅前の広場の一つ裏の通りに、その碁会所はあった。当時「おとひめ旅館」の主人が碁が好きで、その一角を碁会所にしていたのである。

この地に住むことになり、まず碁の打てるところを見つけたいと思っていたので早速入ってみた。数人の人が打っていたが、みんな真剣な顔をして盤面に集中していた。その時、「初めてですね、打ちましょうか。」、と、静かに声をかけてくださったのが先生との出会いであった。

初めて打った時、碁にさせてもらえなかった。対局中先生のため息が漏れたのである。あまりにひどい手を打つ私にあきれていたのだと思う。

ご多分に漏れず、仕事が忙しく時々しか教えてもらう機会がなかったが定年退職してからまた教えてもらう機会に恵まれた。週一局、私が希望し二子で指導を受けていた。ただの一度だけ、かなりの石を手厚く召し捕ってしまって勝ったと思った瞬間があった。それからの凌ぎのために繰り出す先生の手筋、手筋の鋭さに今更ながらの驚きと興奮は私の宝物になっている。６００局ぐらい、指導を受けながら、強くなれない不肖の弟子であった。　置き碁は本当に難しい、多めに石を置き上手が、目いっぱいの手を指さなければいけない場面が一局のうちで沢山現れる方が、下手にとっては強くなれるという先輩もいる。逆に少なめに置いた方が強くなれると言う人もいる。どちらも一理あるのだろう。私の経験から言わせてもらえば、上手が手堅く打って下手が勝てないようなら一子多く置いて打った方がよい。自分の体験で先生に６００局近く打ってもらいながら、まぐれの一局の勝利ではあまりに手合い違いであった。私が強くなれなかった最大の理由と今更ながら反省している。昨年の９月先生は帰らぬ人となってしまった。

第２６回　活きいき囲碁大会のご案内

南大沢大会

日時　　平成２８年９月４日（日）受付　午前９時００分～９時３０分
会場　　由木中央市民センター 下由木２－１０－６　 Tel　６７６－８１２３
申込先　　会長　武中章三　別所２－４５－１－６０２　Tel・Fax　６７５－１４３３
メール　sho3take@s8.spaaqs.ne.jp
申込期限　８月２１日
主催　　南大沢囲碁同好会

北野大会

日時　　平成２８年９月１８日（日）受付　午前９時００分～９時３０分
会場　　北野市民センター（北野町545-3　きたのタウンビル７階　 Tel　643-0440）
申込先　　理事　佐藤義廣　北野町６１－１１　Tel・Fax　６４４－２１４０
メール　sayosi@nifty.com
申込期限　９月４日
主催　　北野囲碁同好会

２大会とも
後援　　八王子市　八王子市教育委員会　日本棋院
参加資格　　市内に居住している囲碁愛好者
参加費　　１，０００円（弁当代を含む）非会員　１，２００円
競技方法　　クラス別に行い、入賞者には賞品を進呈します。
申込方法　同好会の会長または代理の方がまとめて 申し込んでください。

第２６回　活きいき囲碁大会の結果

台町大会　　７月３日(日)　於 台町市民センター

参加者

浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	川口	南大沢	非会員	合計
6	9	2	6	7	1	8	3	１６	4	3	0	７０

初心者教室　５名　参加

Ａクラス　２８名　(四段～七段)

優勝：青山　格　大和田/六段→七段　準優勝：池田 正三　大和田/六段　３位：山縣文雄　北野/六段

Ｂクラス　２５名　(初段～三段)

優勝：渡辺 惠介　川口/二段→三段　準優勝：佐多 恵吉　浅川/初段　３位：山口 修　大和田/三段

Ｃクラス　１７名　(１級～７級)

優勝：小町谷 常孝　浅川/１級→初段　準優勝：小俣 一男　初心者教室/７級　３位：西村 旭　初心者教室/６級

第５回　八王子市子ども囲碁大会の結果

第５回八王子市子ども囲碁大会が、６月２６日（日)、八王子市教育長　安間　英潮氏、東浅川保健福祉センター館長　広瀬　重美氏をお迎えして東浅川保健福祉センターで行われました。

参加者は４７人で、大半の子供さんが父母同伴で、大変にぎやかに、楽しく行われ、そして各クラスの優勝者には、教育長の賞状が授与されました。

小さな子供たちが対局の初めと終わりにきちんと挨拶をする姿は微笑ましいと思うとともに、自分が打ったあと、相手の顔を上目使いに見る表情はなんとも可愛く疲れを忘れさせる瞬間でした。

各クラスの参加者数と、優勝者名

９路盤　　２５名

優勝　柴木　香

(みなみ野君田小　４年)

１３路盤　　１１名

優勝　岡田　ケンジ

(川口小　　４年)

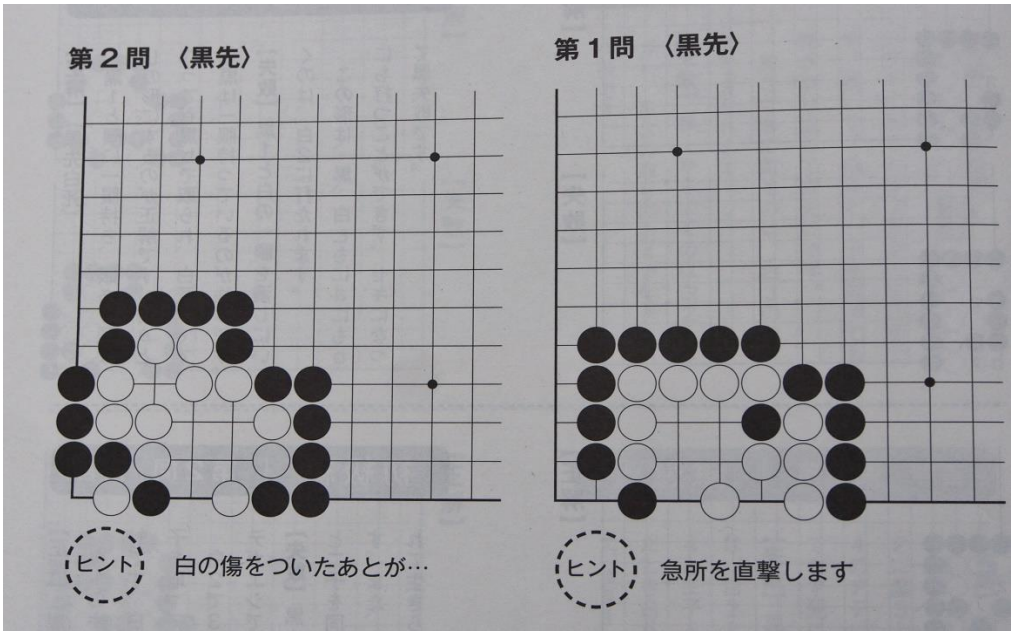
１９路盤　　１１名

優勝　村松　樹

(横川中　　３年)

今月も詰碁を二題

詰碁を解くキーワードは、「ス・テ・キ・ダ・ゼ」にあるそうです。
「ス」は捨て石　「テ」は手筋　「キ」は急所　「ダ」はダメズマリ　「ゼ」は狭めること。
フトコロを狭めるのもコツの一つ。ダメズマリは今月の問題にもあります。
これらを組み合わせて考えれば詰碁は、解きやすくなり、実戦でも役立つそうです。



この問題は、NHK囲碁講座２０１５年５月号からの抜粋です。

編集後記　　いよいよ夏本番です、熱中症もさることながら、特に夏風邪が大変です。
一度ひくとなかなか治りにくいといわれている夏風邪です、夏は湿度も高く暑さで食欲もなくなり免疫力が低下しています。楽しく元気で囲碁をつづけるためにも、これまで以上に健康管理に注意しましょう。
恩方の夕やけ小やけの里には、５００輪以上の「ヤマユリ」が自生しています、この便りが届く頃にはもう終わっているかもしれませんが、来年はぜひ訪れて観て下さい。